

# 京芸大と崇仁地域が100年後の未来に伝える 持続可能なまちづくり 「崇仁SDGs×崇仁未来図デザインプロジェクト」 崇仁発信実行委員会

▶担当 藤尾まさよ ▶電話 075-351-0599 ▶メール [suhjin.hasshin@gmail.com](mailto:suhjin.hasshin@gmail.com)

## 事業目的・背景

2023年京都市立芸術大学・京都市立銅駝美術高校が崇仁地域に移転開校する。地域は大きな変化を余儀なくされ、さまざまな考えがあるが、移転後の地域連携を円滑にできるよう、崇仁地域、京都市立芸術大学学生、崇仁発信実行委員会がコラボし、デザイン芸術の手法で「共に心地よく暮らし合えるまちづくり」を行う。また、京都の東の玄関口としての誇りを持ち、海外の観光客にも対応できる開かれたまちづくりを進める。

## 事業概要

地域独自の「崇仁SDGs」を立ち上げ、地域住民が関われる催しを学生が企画し実践して行く。地域の昔の姿紹介や開催案内イベント紹介の映像作成などに住民が協力者として入る。活動協力をした制作映像は地域内で上映やパネルにて紹介することで、学生も住民も「自分ごとのまちづくり」の意識を高揚させ、「共に心地よく暮らし合えるまちづくり」の一員として楽しみながら携わる住民、学生を増やしていく。

## 活動期間

当会設立は2015年5月。同和問題・部落差別に対する学習・啓発を通して、子ども、若者、高齢者をはじめ、全ての人の社会参画の機会拡充、生活文化環境の向上に寄与することを目的に設立しました。

## 成果

京都市立芸術大学移転開校に伴い立ち上げた「崇仁SDGs」。地域活動を見つめ直し、「誰もが住み続けられるまちづくり」を考える機会を増やしたことで、地域の若者たちが当会スタッフに加わり活動を始めました。

また、複数の大学から共に活動する学生も増え、「高齢住民の聞き取り」「地域文化の継承」「地域現状の発信」など、活動内容の幅が大きく広がったことで、今年度当初の目的通り「共に動く住民の増加」が促進されました。

## 今後の予定

2020年からは京都市立芸術大学建設にむけて、移転予定地の建物解体工事が始まる。

この5年の活動で関係を深めた崇仁地域自治会、地域住民、京都市立芸術大学教職員と大学生、京都一円の学生、地域内センターや地域外のみんなで連携をして、地域独自のフェスなどの催しを立ち上げて、地域内外の多くの人たちが崇仁地域に関わり、部落問題への理解も促進される取り組みを進めて行く。

☆共に活動して下さる学生スタッフを募集中です。



「崇仁SDGs100年後の未来に伝える：昔のまちを再現しよう」大学生が地域高齢者から地域の話聞き、昔の町並みを地図上に再現。地域住民の意識を「自分ごとのまちづくり」につなげて、地域の未来を考える一員になる形をつくる。



住民や学生たちが活動に取り組むようすを行事の度に展示して地域内外へ発信する。地域住民には、自らが関わった活動を目に見える形で知らせ、次の活動に関わりたいとの想いを促す。地域外には、展示を通して知識理解を啓発する。



「すうじんテレビ：誰ひとり取り残さない地域情報の共有」。高齢・識字問題・孤立など、地域での情報難民救済のため、映像で地域情報を地域の隅々まで届けられるように、子どもたち、住民・学生と共にシステム作りをする。